

## 会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成19年度第2回定例会
開催日時	平成19年9月27日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：村田委員、服部委員、浅野委員、一方井委員、小西委員、大澤委員、八木委員 事務局：小池館長、奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議 題	1 提言策定のための協議 第1回 2 その他
会議資料の名称	1 西東京市図書館協議会平成19年度第3回臨時会会議録 2 西東京市図書館の課題 3 事務事業洗い出し表 4 図書館利用者アンケート調査結果 5 指定管理者制度について 6 特集「u-Japanの胎動」 「u-Japan」実現に向けて
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>会長 本日は、提言策定のための協議 第1回ということで、議事を進行させていただきますが、日程の順序を逆にして、先に議題の「第2 その他」として図書館側からの報告をしていただきます。</p> <p>その前に前回会議録の確認をしていただきます。内容に指摘、意見等がなければ承認させていただきます。</p> <p>では、次の議題に移り、図書館側からの報告をお願いします。</p> <p>館長 9月第3回定例会市議会が終了しましたので、内容について報告いたします。</p> <p>一般質問では図書館に係る質問は特段ありませんでした。予算特別委員会では、（仮称）保谷駅前公民館・図書館整備事業について補正予算を計上のため、質疑がありました。補正予算の内容は、施設整備に係る工事費及びそれに付随する工事管理委託料が主なものであり、公民館費が107,760千円、図書館費が185,090千円、合計292,850千円です。その他の経費である公有財産購入</p>	

費、移転費用、初度調弁費等は予定どおり20年度当初予算に計上する予定です。

質問が2件ありまして、1つは施設の内容について、特に駅前ということでのような特徴・特質があるのかということです。もう1つは、図書館の使い勝手ということで、動線をどのように考えて設計したのかということです。概ね、駅前施設整備については、疑義のない肯定的な質問でした。

会長 質問・意見等がありますか。

委員 補正予算は、図書館が要求した金額が査定されたのですか。

館長 要求どおり可決しました。

会長 第1の議題「提言策定のための協議 第1回」に移りますが、これは 委員、委員に会の進行をしていただきます。その前に、副会長から9月13日に開催した検討部会準備会の総括をお願いします。

副会長 報告させていただきます。

9月13日（木曜日）午後3時から5時30分まで、中央図書館会議室で開催し、委員7名、図書館職員1名（特別参加）の参加がありました。

内容については、検討部会の準備のための集まりであり、研修が続いたので、感想・疑問点等を自由に述べる会とする。また、次回協議会に請求する資料を決定するなどです。

記録については、話し合いの整理と参加者の共通理解のため、簡単な要点記録を作成するが、公開はしないこととします。（関係者のみ閲覧）

会長 それでは座長を交代いたします。委員の到着が遅れていますので、委員に進行をお願いいたします。

委員 それでは、提言策定のための協議 第1回ということではじめさせていただきます。検討部会という形で議論するという事になっており、委員が部長、私、が副部長として進めさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

どのように進めていくかということで、準備会を開催しましたが、最終目標である提言をどのようなものにするか、準備会で話し合われた章立ての例を参考としたい。

本日は、現在の状況を押さえるにあたって、出していただいた5つの資料を確認していきたいので、それぞれの資料について、事務局から概要説明をお願いします。

副館長 西東京市図書館の課題として、前回配布した資料の要点を次のとおりまとめました。

#### 1 施設整備

- (1) 施設の適正な配置  
特に、東伏見駅周辺の図書館サービスのあり方について方針を明確にする必要がある。
- (2) 保谷駅前図書館の開設  
平成20年6月を目途に開館準備に取り組んでいる。
- (3) 既存施設の計画的な改修  
特に、中央図書館施設のリニューアルは緊急課題である。「施設整備提言（平成18年）」を参照のこと。

## 2 組織体制

- (1) 正規職員の組織体制の見直し  
<1>事務分掌を見直し、基幹業務と非基幹業務の分担を明確にすること。  
<2>組織定数を見直し、長期的な人員配置計画を策定すること。
- (2) 嘱託方式の見直し  
正規職員の組織体制の見直しに基づき、嘱託方式を再検討し、方針を明らかにすること。
- (3) 委託方式の検討  
委託方式を導入にした場合の諸課題を整理し、方針を明らかにすること。
- (4) 指定管理者制度の検討  
指定管理者制度について検討し、方針を明らかにすること。

## 3 運営

- (1) 開館日の拡大  
祝日開館、通年開館など開館日の拡大を検討
- (2) 開館時間の拡大
- (3) 館内整理日の設置

## 4 図書館サービス

- (1) 情報サービスの拡大  
OPACでの新聞記事データの閲覧及びWebでの記事索引検索の実施
- (2) ビジネス支援事業の実施
- (3) e-レファレンスの検討

## 5 業務改善

- (1) 基幹業務と非基幹業務の振り分け
- (2) コビキタスネットワークの活用

## 6 予算

- (1) 施設規模とサービスの拡大に伴う資料費の充実
- (2) コビキタスネットワーク構築のためのICタグシステム関連経費の確保  
本日追加で配布した、“特集「u-Japanの胎動」 2010年の「u-Japan」実現に向けて”は、国でIT基本法制定後、e-Japanを出したあと、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークにつながり、情報の自在なやりとりを行うこ

とができるユビキタスネット社会（u-Japan）の形成が新しいIT社会基盤整備の目標像として位置づけられている。活用事例として、図書館の書籍への電子タグの貼付により、貸出業務、書籍管理業務の効率化が実現されている。

続いて図書館利用者アンケート調査結果について説明します。

平成18年9月6日から20日まで実施し、（1）図書館サービスの満足度、（2）図書館情報サービスの満足度、（3）図書館の個人情報保護の取扱いの調査項目で、館内とWeb合せて533人から回答をいただきました。

図書館サービスの満足度として、満足度は平均3.5～3.6でまあまあの評価をいただいています。「利用しやすい場所にある」「職員の対応は良い」「市内図書館（6館1分室）の連携はできている」「貸出の冊数、期間の制約は少ない」「司書などに検索してもらおうと自分で探すのに比べて時間は短い」等が4以上の高い評価をいただきました。

図書館情報サービスの満足度については、インターネット検索について、図書を検索する場合、資料を探しやすい、図書館資料に予約する場合、使いやすいで、4以上の評価をいただきました。

図書館の個人情報保護の取扱いについては、3.6の評価をいただきました。

その他の意見として、図書館サービスについて149件、情報サービスについて70件の意見をいただきました。

続いて事務事業洗い出し表は、ISO関係の環境マネジメントシステム運用に関して、業務を洗い出したものを使用して、業務を基幹業務、非基幹業務に分けて作成しました。

庶務系の事務事業はだいたい基幹業務ですが、清掃業務・機械管理は既に委託化しています。

奉仕系の事務事業は、図書館資料の選択、収集、整理、保管及び除籍に関することでは、選書は正規職員、図書の受入、装備、配架等は非基幹業務と考えています。その他の業務も同様に基幹業務、非基幹業務に分けてみましたので資料を参照してください。

指定管理者制度については、西東京市ホームページから印刷しました。これについては館長が説明します。

館長 西東京市の公式見解ということでホームページで公開されています。制度の概要、制度の目的、市の対応といった内容のお知らせです。指定管理者制度については、提言の中で、図書館についてはどうするか結論づけて提言いただければ幸いです。

委員 何か質問等がありますか。

副会長 ユビキタスについては、具体的にどう考えているのでしょうか。

館長 現在稼働している図書館管理システムは、第2期管理システムへの移行を計

画しています。保谷駅前整備を考慮して、平成20年6月1日稼働を考えています。第2期システムに合わせて、自動貸出システム、ICタグ利用の資料点検、盗難防止機能等を考えています。

委員 「西東京市図書館の課題」の組織体制の項で、組織定数を見直し、長期的な人員配置計画を策定することというのは、人員を増やす、減らすのどちらでしょうか。

館長 定数は減らす方向で見直しています。しかし、行革の目的としては、一定のレベルの定数削減は実行されているので、今後は、サービス改善に力点が移ってきています。

保谷駅前図書館は、現在の下保谷図書館の施設規模、サービス内容が2倍以上の増加が見込まれていますので、正規職員は4名から6名、嘱託員については柳沢・ひばりが丘図書館並みの配置をするよう要望しています。

委員 課題の運営のところで、館内整理日の設置についてですが、以前の保谷市図書館では館内整理日がありました。嘱託員の研修は共通理解のため必要なので、館内整理日を設置して、研修を実施してほしい。しかし、開館日の拡大との関係でいかがでしょうか。

副館長 流れとして開館日の拡大があり、15日間の資料整理日も市民には不評です。館内整理日をなくし、資料整理日なるべく短縮することになりました。土・日開館、勤務の時間帯が違う、班編成が違う、資料整理日もどこかの図書館が開館しているということで、職員、嘱託員が一同に集まって研修するという機会はありません。

委員 自宅でインターネットを使用してなんでもできるという時代なので、どこかが開館しているというメリットはあるのでしょうか。

副館長 Webサービスを開始してから図書館の使い方が変化しました。利用者も環境が変化したが、図書館も提供するサービスの仕方が変わったと言えます。

館長 規則に規定されている資料整理日は、実際の目的は資料点検です。様々な工夫、機械の導入等で期間は短縮されてきています。しかし残った期日を研修に当てるとするのは難しい状況です。

委員 研修が軽視されていると思われるので、それではいけないので、公に実施できるようにしてほしい。

副館長 嘱託員研修は、採用時だけしかできません。資料整理時に4時間で地域資料、レファレンス等の研修を実施します。みんなもっとやってほしいという希望が出ますが時間を確保することは難しいです。1カ月に1日、研修する時間があれば次に進むチェックができます。

委員 研修の必要性を強調する。職員のレベルが向上しないと良いサービスができないということを、館内整理日という名称を変更してでも確保していく必要がある。研修の少ない組織はだめになります。

副会長 資料整理日が2週間あったら、三分の二を資料整理にあて、残りを研修の時間に確保したらどうでしょうか。

副館長 研修は、1年に1回では確認しながら進めていくことができません。

委員 研修プログラムをきちんと作成することが重要と考えます。

委員 図書館の仕事はやればきりがありません。日常的に時代に合わせた資料について、職員が知らなければできない仕事です。職員の対応、スキルを持ってないといけません。新しい問題を提起しながら、専門的仕事を認めていくことが必要です。

委員 図書館協議会では、図書館員は新しいことに対応していく組織であるということ、良いサービスをするため研修を実施し、計画的なチェックを重ねることが必要であるということなど、主張すべき点はしていきたいと考えています。

副会長 職員の世代交代が続くので、古いノウハウを次に伝えていくことを、どのように計画的にするのか、考えをお聞かせください。

館長 職員の意識を明確にすることが館長、副館長の役割であると考えています。また、今後世代交代が進んで行く中で、組織がさらに向上していくよう対応を考えています。

委員 向こう10年間の職員の推移を表にした資料があれば、それを見ながら具体的に話し合うことが重要と思います。

会長 図書館の研修計画が、図書館活動の中でどういう位置づけになっているかをはっきりさせる必要がある。年度計画の中で、研修計画の実績には触れていないのでもの足りません。古文書を読解する力がある職員が減っています。そういう人材が育つ研修計画が必要です。西東京市図書館研修計画があってよいと思います。

委員 現在いる図書館職員を、適切な研修計画で、キャリアアップさせることが重要と考えます。しかし、市の人事体系との関係がどうなっていくかが課題です。すぐれた制度である司書職制を維持し、図書館のサービス水準を保っていくことを言っていかなければいけません。

委員 課題の図書館サービス、情報サービスの拡大の項で、新聞記事データの閲

覧、記事索引検索とあるが、ローカルなものです。主題の分類項目表はあるのですか。また、ビジネス支援事業の実施とあるがどのようなものですか。

副館長 西東京市に関する新聞記事をデータベース化したものです。独自の分類で日常的に運営しています。ビジネス支援事業に関しては、具体的にはお答えするようなものはありません。

委員 ビジネス支援については、商工会とタイアップする、行政では産業振興、福祉等の関係各課と連携するなど、図書館運営の中身を考えて、図書館全体の運営の中で考えていくことが重要と考えます。

委員 市の図書館として、学校図書館の支援が重要、サポートが必要と考えます。

委員 商工会とはどのようにかかわっていくのでしょうか。

委員 商工会は中小業者の実態をつかんでいるので、図書館で資料目録を作成するなど持っている資料を公開させる取り組みが考えられます。

委員 情報に関連する他機関とネットワークを上手に組む。異業種とお互い持てる力を出して連携して、うまくネットワークをつくっていくと良いと思います。

委員 研修の位置づけはきわめて重要であると思います。教員の場合、初任時研修、10年時研修があるが、部分的に変わっていったり、夏休み期間中だけの研修になっています。

委員 提言の骨子を頭に浮かべながら議論を続けてきましたが、今後もこの方向で議論を続けていきたいと思っています。課題に盛り込まれた内容を、提言の中で実現できるように書き込んでいきたいと思っています。

委員 本日資料の「事務事業洗い出し表」は要約されたものですが、詳しい資料を使用して事業の洗い出しを一緒にやっていき、時間をとって具体的に詳細に検討していきたいと思っています。

委員 経営管理業務も含めて、次をどうするか考えて、次回も引き続き提言に向けて議論を続けていきたいと思っています。

会長 最後に日程の確認をさせていただきます。次回は予備日として、10月11日（木曜日）午後3時から中央図書館会議室で、研究会を開催いたしますので、よろしくをお願いします。